

## はじめに

池田学園池田中学・高等学校 校長 池田由實

本校は、平成17年に「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受けて、16年に亘って研究開発を継続してきました。今年度は第三期の4年目にあたります。

本校は「小中高における各段階の有効な教育課程の開発を行い、段階的に一貫した理数教育を実践することによって、科学への興味・関心を喚起し、国際的な場で活躍できる幅広い知識をもった優秀な人材を育成する。」という研究開発課題を立てています。高校では、教科「スーパーサイエンス」の中に「課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、グローバルサイエンスⅠ・Ⅱ、アサーション、ソフィア」、中学校は「SS基礎」、小学校は「ベーシックサイエンス」など特色ある科目を設定し、理数教育の研究開発をしています。

まず、「小中高一貫」の課題については、指定初年度より、小学校では「ベーシックサイエンス」、中学校では、「SS基礎」を設定して基本的な科学の素地を作り、成果発表の場として、小学校は「学習発表会」、中学校は「自由研究発表会」を継続して開催しています。高校生は「中間発表」、「英語プレゼン発表会」「SSH研究発表会(中高とも英語発表)」も実施しました。

次に、「国際性」の課題については、例年は「国際大会」への参加や、「海外研修」を実施していますが、コロナの影響で出来ませんでした。しかし、それを逆手にとって、海外研修に行けない生徒への研修の還元を含めて、「S-I Link(シンガポールのSt. Joseph Institutionとのzoomによる科学交流)」を始めました。

「科学への興味・関心」の喚起の機会として、SSHのハブの役割も持った国際科学コンテスト「グローバルサイエンティストアワード“夢の翼”(以下、GSA)」を学校法人千葉工業大学の協力を得て共催し、大塚製薬株式会社や株式会社ソラシドエア等の協賛も得ました。今年からシンガポールや台湾からの参加もあり、名実ともに国際大会に成長しつつあります。このGSAは各方面の激賞を得て、文部科学省の後援とともに、最優秀賞に「文部科学大臣賞」が付与されました。

成果として、生物班②が「高校生国際シンポジウム」で最優秀賞を獲得してGlobalLinkSingaporeへの出場権獲得、科学思考班①が「JSEC(高校生・高専生科学技術チャレンジ)では最終選考に残り、「審査員奨励賞」を獲得、GSAでは生物班②が英語プレゼンテーションで「優秀賞」、また、科学思考班①が「ROV(Remotely Operated Vehicle)」の研究で「学校法人千葉工業大学賞」を、さらに、WEB開催となった全国高等学校総合文化祭高知大会では物理・地学の2つの部門で「文化連盟賞」を獲得しました。これらの大きな成果から研究開発の手ごたえを感じています。

最後になりましたが、本校の研究開発に支援を頂いている、文部科学省、科学技術振興機構(JST)、日本学術振興会(JSPS)、鹿児島県総務部学事法制課、運営指導委員各位、早稲田大学、千葉工業大学、鹿児島大学、熊本大学、株式会社ソラシドエア、大塚製薬株式会社、株式会社新日本科学、一般社団法人メディポリス医学研究所、株式会社西酒造の皆様に心から感謝を申し上げるとともに引き続きのご指導をお願いする次第です。